

はじめに

高萩では、澄んだ夜空に天の川が見える。街明かりに照らされた空の下での生活に慣れると、天の川の存在さえ知らず、いつの間にか夜空の星に気をとめなくなっている。星と宇宙の存在は、大型望遠鏡や人工衛星から提供される美しい映像に埋め込まれてしまっている。このような状況がある故に、余裕ができたときには、自然に直に触れ、未知なる自然を体感したいと想う人々も増えている。

本小冊子では、高萩（茨城県高萩市）の暗い夜空を紹介し、同じ夜空を眺めて育った野口雨情の想いに触れます。茨城大学の学生は、2年間かけて茨城県の中央部と北部地区の夜空の明るさを調査しました。この地域の294カ所の調査結果を基に、「夜空の明るさマップ」を作成しました。これによると、高萩市の山間部には暗い空があることが判明しました。この地域の夜空の暗さは、首都圏近傍において、極めて貴重な自然と云えます。また、この高萩の大地の成り立ちについての研究成果を述べ、2億年かけてできた自然への想いを膨らませて頂きたいと思います。郷土の誇れる江戸時代の儒学者である長久保赤水の天文学について研究成果を述べ、啓蒙家としての積水を紹介します。高萩には、茨城大学の宇宙科学教育研究センターと国立天文台の大口径宇宙電波望遠鏡があります。この施設は、旧 KDDI 茨城衛星通信所で運用されていた施設を引き継いだものです。この地で世界に先駆け 1963 年に開発された衛星通信用パラボラアンテナは、2009 年に国際機関 (IEEE) から世界の技術遺産 (IEEE Milestone) の認定を受けました。1960 年代当時のアンテナを知る天文学研究者から電波科学発祥の地としての茨城について語って頂きました。また、同研究者から科学と戦争に係る記事についても書いて頂きました。

茨城大学では高萩市をはじめとする茨城県北部の自治体と協力して「茨城県北ジオパーク」構想を提案し、地域の地質遺産を含む自然を活かした地域社会の活性化をめざしています。本小冊子が高萩の自然の素晴らしさを地元の方々のみならず、茨城県内外に広める機会になることを幸いに思います。

2010年3月

茨城大学 宇宙科学教育研究センター長
横沢 正芳

もくじ

高萩の空	横沢正芳
高萩地域の空の特徴	檜木梨花子
高萩の大地の成り立ち	安藤寿男
長久保赤水の天文学	川口和彦
北茨城と宇宙通信	渡邊 堯
北茨城と風船爆弾	渡邊 堯